

氏 名	: 岡部 春香
学 位 の 種 類	: 博士 (看護学)
学 位 記 番 号	: 博看第14号
学位授与の要件	: 学位授与基準第4条第1項該当
学 位 論 文 題 目	: 地域包括ケアシステムを推進する「電子版看護情報手帳シ ステム」の開発に向けた基礎的研究
研究指導教員	: 教授 中島 美津子
論文審査委員	: (主査) 大越 扶貴 (副査) 岸恵美子、瀬戸遼馬、金子 あけみ、 中島 美津子

論文審査結果の要旨

地域包括ケアシステムの導入により、終末期などマネジメントの困難な患者の退院支援が要請され、看護職間連携はこれまで以上に重要となっている。看護サマリー（以下サマリー）は連携を促進するツールとして活用されているが、紙ベースでやりとりされ、内容の一貫性や質の担保が課題となっている。そこで本研究では看護職間の情報共有を行う上で必要なサマリーの作成指針と手帳システムの構成要素を明らかにすることを目的とした。

関東圏内の病院（300床以上）、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、特別養護老人ホームに勤務する臨床経験3年以上の看護職を対象に、看護サマリーの使用状況および看護サマリーのみでは対応困難だった項目等、無記名自記式質問紙による調査を行った。

その結果、看護職がサマリーのみでは対応困難だった項目は、患者・利用者／家族との関わり方、日常生活、ケアであった。施設間で最も差異がみとめられた項目は、治療、薬、検査データであった。退院時に伝達してほしい情報は、患者・利用者／家族との関わり方、ケア、処置が顕著に高かった。サマリーの活用方法は、看護職との情報交換、処置の確認、既往歴の確認であった。

これらの結果は、地域包括ケアシステムにおける看護職間の効果的・効率的な情報共有の在り方と情報共有のための必須項目を提示しており臨床的・実務的価値があると考えられる。

以上より、本論文および審査会における質疑応答を総合的に勘案し、学位規定第4条第1項に定める博士（看護学）の学位の授与に値するものと評価した。

令和4年3月11日

論文審査委員（主査） 大越 扶貴